

資料2-3-1

科学技術・学術審議会  
研究計画・評価分科会  
宇宙開発利用部会  
将来宇宙輸送システム  
調査検討小委員会  
(第2回) R2. 1. 30

# 宇宙基本計画等に基づく 今後の政府関係衛星等の打上げ見通し

令和2年1月30日  
文部科学省宇宙開発利用課

# 宇宙基本計画等の記載を参照した場合の今後の打上げ見通し

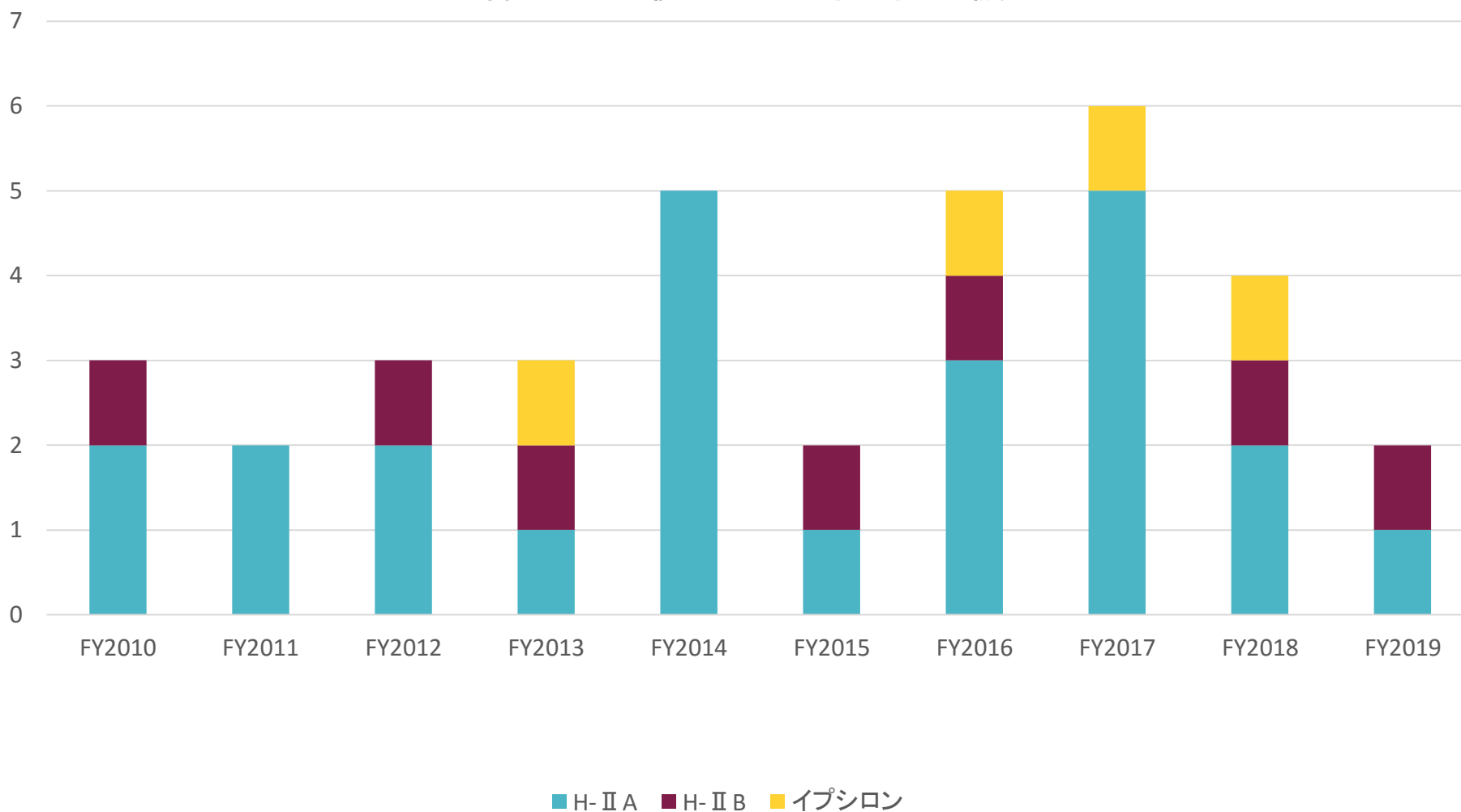
宇宙システム	機数	衛星重量	軌道	設計寿命	推定年当り打上げ数
情報収集衛星(観測)	常時8機	不明	低軌道	7年	1.1機
情報収集衛星(データ通信)	常時2機	不明	静止軌道	10年	0.2機
準天頂衛星	常時7機	約4t	準天頂軌道/ 静止軌道	15年	0.5機
気象衛星	常時2機	約3.5t	静止軌道	15年	0.1機
温室効果ガス観測技術衛星	概ね10年1機	約2.6t	低軌道	7年	0.1機
防衛用通信衛星	常時3機	不明	静止軌道	15年	0.1機
軌道上宇宙状況把握システム(構想中)	不明	不明	不明	不明	—
陸域観測衛星	光学・レーダ各1機	約3t	太陽同期 準回帰軌道	7年	0.3機
地球環境観測衛星	10年2機(未定)	—	低軌道	—	0.2機
技術試験衛星	概ね10年1機	約4.5t	—	—	0.1機
データ中継衛星	常時1機	4t以下	静止軌道	10年	0.1機
革新的衛星技術実証	隔年1機	386kg +アダプター	太陽同期軌道	—	0.5機
科学衛星・探査機(中型)	10年3機	—	—	—	0.3機
科学衛星・探査機(小型)	隔年1機	—	—	—	0.5機
国際宇宙ステーション(～2024年迄)	概ね年1機	16.0t	低軌道	—	1機
国際宇宙ステーション/国際宇宙探査(2025年以降)	未定(調整中)	未定(調整中)	低軌道～ 月軌道	未定 (調整中)	未定(調整中)
今後5～10年程度の見通し					低軌道:3～4機 中高軌道:1～2機

※2020年1月時点の宇宙基本計画及び関係政府計画による。

※相乗り等により年当たり打上げ数は変更ありうるものである。

# 参考)2010年代(2010年~2019年)の政府関係衛星等の打上げ実績

2010年代の政府関係衛星等の打上げ実績  
(基幹ロケット使用)(平均 年3.5機)



## ○参考) 工程表記載上の計画

宇宙システム	担当府省	FY2020	FY2021	FY2022	FY2023	FY2024	FY2025以降
情報収集衛星(観測)	内閣官房			1	2		4
情報収集衛星(データ通信等)	内閣官房	1	1				
準天頂衛星	内閣府	1			3		
気象衛星	気象庁						
温室効果ガス観測技術衛星	環境省				1		
防衛用通信衛星	防衛省			1			
軌道上宇宙状況把握システム (構想中)	防衛省						
地球環境観測衛星	文部科学省 /JAXA	1	1		(1)		
通信衛星(データ中継・技術試験衛星)		1		1			
科学衛星・探査機(中型)			1			2	
科学衛星・探査機(小型)			1(1)	1		1	
革新的衛星技術実証			1	1		1	
国際宇宙ステーション (~2024年迄)		1	1	1	(調整中)	(調整中)	(調整中)
国際宇宙ステーション / 国際宇宙探査(2025年以降)						(調整中)	(調整中)

※宇宙基本計画工程表(2019年12月改訂)に基づく  
 ※()内は相乗り衛星・ペイロード